時事新報定價

時事新報は每號八面乃至十二面にして詳細の商況物價報告あり其代價遞送料廣告料は左の如し

一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓〇月曜休刊

〇時事新報社より直接に遞送スルモノハ右定價ノ外ニ一箇月十三錢ノ遞送料ヲ申受ク



時事新報廣告料（前金）

| 一行五號活字廿四字詰 | 一日限 | 一日以上六日迄 | 七日以上 |
|---|---|---|---|
| 一行ニ付 | 十三錢 | 十一錢 | 十錢五厘 |


## 本社へ寄稿に付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を填塞するより各社同一の記事を掲ぐること寡からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も寡からざれば本社に記事論說を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんことを請ふ

# 時事新報

## 船賃と外國貿易

運輸交通の便の忽にす可らざるは今更ら云ふ迄もなし我國にても近年海陸共に大に其便を開きたれども尙ほ不便を云々して時に船車の不足、運賃の不廉など樣々の苦情を耳にすること少なからず即ち商人が運輸の事に注意の疎ならざる一證として見るべきものなれども右は唯內國のみの事にして一步を進めて外に對するときは其邊の注意甚だ密ならずして運輸の便不便、運賃の廉不廉は共に不問に附して外國貿易の計算中に殆んど看過するものゝ如し甚だ奇なりと云ふ可し畢竟海外運輸の權は凡て外人の手裏に歸して我商人の如何ともし難き所なれば之を爭ふも詮なしとて默し去るの事情もあらんかなれども又一には船賃の年々低減して輸出向には多くの障碍を見ず嘗て之れが爲めに苦痛を感じたることなきより知らず識らず安心を催ほして無頓着に流れたるにはあらざるか若し果して去る事情もあらんには我輩は甚だ懸念に堪へざるものあり今其次第を述べんに目下の形勢より云へば世の進運と共に今後交通の便も益々開けて運賃の自然に下落す可きは更らに疑を入れずと雖も左ればとて年々歲々必ずしも下落の一方にのみ傾く可きにあらず物價に時々刻々の變動あるが如く運賃に於ても亦時に浮沈は免かるべからざるものなれば自然の大勢に依頼して安心するは商人の事に非ずと云ふ可し多年外國爲替相場の下落に狃れて銀貨問題に無頓着なりし貿易商が一朝の變動に遭ふて一昨年の大失敗を招きたるの事實に徵しても油斷大敵の次第を悟ることならん而して本年の狀勢如何を臆測すれば或は船賃騰貴の虞なきを期す可らず今歐米各國海運の模樣を察するに船舶決して餘りありと云ふに非ず、荷物決して減少したりと云ふに非ず諸洋航行の船舶相應に多忙にして各地の造船所も亦閑ならず船舶の需用如何をトすべき造船料其他此事に從事する職工の給料なども更らに下落の模樣なしと云へば仔細の調査を要せずして世界に船舶の過多ならざるを知るに足るべし只昨年來東洋に少しく空船の多かりしは南米諸國の形勢甚だ穩かならず各所に革命の變亂起りて妖雲全洲を鎖し人心洶々又商事を顧みるの暇なきよりして大西洋上の貿易甚だ面白からず船主は荷物なきに苦むの餘り余儀なく無用の船舶を驅りて東洋に競爭を試みたる其結果として意外に空船を多からしめ隨て運賃の下落したるが爲めに米穀の如き粗大の品物も其原價の高きに拘らず容易に輸出するを得たることなれども今や大西洋上の貿易は全く舊に復して船舶を要すること亦昨年の比にあらず今後は次第に空船を引上ぐることゝなる可ければ此一事にても東洋航通の船舶は餘裕を得ずして船賃に影響す可きこと理の當然なるべき其上に年來東洋諸國より輸出するものは石炭の如き米穀の如き總て粗大の素物のみ多く價低き製造品に對して只さへ偏積の弊あるもあるに昨年來外國爲替相場の下落したるが爲め金貨國の貨物は東洋に出廻ること薄きに引換へ銀貨國たる東洋よりは益々輸出の高を增すの傾きありて愈々船舶の不足を告げ便船每に荷物は船に溢れて次第に運賃を騰貴せしめ結局粗大の品物は輸出の道なくして甚だしき停滯を來すこともあるやも知るべからず殊に極東に位する我國の如きは往來の航路遠きが故に中途にて西洋行の荷物を積み滿船既に餘地なく未だ我國に來らずして早く船首を西することもあらん夫れ是れの事情を考れば今後我國に入港する運賃積の船は多少その數を減じて船賃の騰貴を見ることあるべしとの想像も穴勝無用の空論として排斥す可らざるが如し若しも我輩の臆測想像にして大に違ふことなしとすれば生絲の如き容積の小なるものは兎も角も差向き米穀の如き石炭の如きは少なからざる影響を蒙りて假令ひ一方に好果を收むることあるも差引外國貿易は全體の上に於て矢張不結果に終ることもあらん斯くては當に當業者の不幸のみに止らず引て一國の經濟上にも及ぼし利害の關係する所少小ならざるものあれば運賃の事小なるが如くにして決して小ならざるなり此際其局に當る人々は能く其邊の勘定合を審にして本年貿易の趨勢を察し彼の一昨年に起りたる爲替變亂の同轍を踏まざらんこと切に希望する所なり

## 官報

朕貴族院伯子男爵議員撰擧規則第十六條ニ依リ明治二十五年六月四日ヲ以テ貴族院伯爵議員一名闕員ノ爲ニ補闕撰擧ヲ行フベキコトヲ命ズ

御名　御璽

明治二十五年四月八日

內閣總理大臣伯爵松方正義

## 雜報

### ○南太平洋ニューカレドニヤ濠洲旅行記（九）　三本武重

シドニー港（一名ヂヤックソン港）

港に就ての貴說如何とは濠洲殖民地の一なるニユーサウス ウエールス州の首都シドニーの府民が外客に對して最初に起す質問なりとぞ府民が港の良好なるを以て世人に誇らんとするの意あるを察するに足らん其廣さと云ひ深さと云ひ便利と云ひ安全と云ひ將た風景と云ひ一として非難を加ふべき點なく港門を通過して中央に進めば恰も一大湖水に船を浮べたる如く始めて入港したる外客をして眞に良港なりと嘆稱せしむ蓋し斯る良港は世界中稀に見る所にして夫の香港の如きも天然の一良港なるに相違なしと雖ども之をシドニー港に比すれば數步を讓らざるを得ず外人は南米のリオ ヂ ジヤネーロ港と本港を以て世界中最良の港なりと云へりとぞ本港は一百二十餘年前英のカプテン クックが發見したる港灣なれどもクックは其外部を一見したるのみにて內部を探撿せざりしかば其良港なる事を確むる能はず單に親友ヂヤックソンの名譽を表彰せんが爲め其名を取りてヂヤックソン港と稱し却て南隣なるボタニー灣の良好なる旨を本國に報告したれ共數年を經て一千七百八十八年一月カプテン フヰリップが英國政府の命を奉じ七百餘の囚人をボタニー灣の殖民地に移さんとて來着するに及んで初めてボタニー灣は殖民地たるに適せざるを發見し尙ほ海岸に沿ふて航行を試み遂にヂヤックソン港に入り親しく實地を巡撿して天然の良港なるを確め港門を距る凡そ四哩なる入江を上陸地と定め當時本國の殖民大臣たりしシドニー子爵の名を取りてシドニー コーヴと稱へたり是れぞ即ち一百年後の今日、世界の大船巨舶が常に繫泊する所にして實に本港中樞要の位地を占むる者なり今や南太平洋よりシドニー港に入らんとする船舶は口徑一哩計りなる港門を通過すべし其左右なる南北兩岸頭は岩石の高く屹立する所にして自から關門の狀をなし相對して激浪の襲ひ來るを防ぎ港內の安全を守護するものゝ如し北岸頭には內外の兩頭あり南岸頭にも亦內外の兩頭ありて外南岸頭には其光輝三十哩を照らす廻轉電燈を安置す北岸頭の內側には撿疫所の設けあり移住民を搭載したる船舶にして船中にて傳染病を發したる船等は何れも暫らく此處に抑留せらるゝ箸にて日本郵船會社の廣嶋丸も亦撿疫を受け水溜に入れたる水を全く排除するまで港內に進むを許されず之が爲に空しく數時間を費したりき支那日本及印度の海岸より來る船舶は何れも皆然りとぞ又北岸頭には避病院あり之に接する街區をマンリーと云ひ此邊一帶の水を稱して北港と云ふ港門に向て突出する岬をミッヅル岬と稱す遠く港門の外より望めば此岬の爲に遮られて港內は左程廣からざるの感を起さしむカプテン クックがシドニー港の內部を探撿するに至らざりしは蓋し之が爲ならんとの說あり此岬を左手に見て西北に進ばミッヅル港にして其面積は三平方哩に亘り幾多の小江灣は其兩岸に出入して風景愛すべし又港門よりミッヅル岬を右手に見て南方に進ば所謂ヂヤックソン港の本部にして其面積九平方哩の廣きに及ぶ之よりシドニー コーヴに達する間は左右兩岸に幾多の江灣小岬凹凸出入して一々其名を擧るに遑あらず而して數個の嶋嶼は其間に點綴して更に一般の風景を添ふ就中大なるはガーデン嶋にして嶋上には英國海軍用の武器を貯藏す又港の中央にデニソンと稱する小砲臺あり凡そ當港中大砲を据え不虞の用に備ふる場所は港の北岸なるミッヅル岬、ジヨージ岬、ブラドレー岬南岸頭シドニー コーヴの左右兩側なるマッケリー砲臺ダウエス砲臺等なるが如しシドニー コーヴの岸頭に架する圓形棧橋の長さは一千三百呎にして歐洲の大船巨舶は之に繫ぎウールームールー灣の棧橋は一千二百呎ダーリング港の棧橋は一千八百呎なり此等は何れも官設に係るものにして其他私設の棧橋は一々枚擧し難し我廣嶋丸はダーリング港頭に架する群橋の一なる濠洲共同汽船會社の棧橋に繫泊したり元來本港は水頗る深くして港門より內部に進む數千噸の大船が時としては岸を距る僅に數間に過ぎざる所を無難に航行するを見て其深さを察すべし又港內は波濱穩かなるが故、船より船に荷物を積移を得べく現に廣嶋丸はダーリング港の沖合に於てアブレードと云へる汽船と相並び一晝夜も兩舷を殆んど

船に積み移したり其便利

述べたる如く港門より

哩にして之より尙ほ西方

で航行を試むるを得る

の長きに達すべく港內に

は四百呎乃至六百呎の巨

ニー市より港內諸所に往

港內を駛行して府民の用

諸國及濠洲各殖民地より

內常に帆檣の林立するを

ス州輸出入總額一箇年

よりの出入に係る豈に

以て世人に誇らんとする

實に世界の最良港なるを

ず其實況を記したり次回

たる事柄を述べん

○帝國軍艦嚴嶋　過般佛

於てチューブに損所を生

帝國軍艦嚴嶋は此程佛國

る技師がウオルカー會社

著手したる爲め三月の下

し得るならんと近着の佛

○米國東洋艦隊新艦の來

艦ペトレルは新嘉坡、

港へ來着せり該艦は兩

排水九百噸、乘組員百

を備へ艦長は海軍大尉

○衆議院の準備　特別議

に依り衆議院にては議

び其他諸般の準備を來

と又速記者、事務員、守衞

の如きも十二三日頃より

刷器械の据付けも來る

○直間稅分署の移轉　新

以て日本橋區箱崎町三

○土方大臣の留別會　東

の途に就くを以て土方

公使及び夫人を初め其他

の精養軒へ招待して送別

○橫濱市の淸潔法　神奈

告諭を管下に發せしが

に近づくより此際橫濱

法を實施する由なり

○東京府知事の勝訴　遠

要助外五十名より東京

國第七區市有地讓與不當

判所に於て數回口頭辯

たず棄却する旨一昨日

## 壁訴

○車夫體の用語

隈黨、破壞黨、吏黨、銅

喧嘩場に持出されそう

るの欽新聞記者の下品

○農民何ぞ阿部彦に

地租輕減の約束に迷ふ